

**全国福祉用具専門
相談員協会が定時総会**

全国福祉用具専門相談員協会（略称ふくせん、山下一平理事長）は5月29日に平成24年度定時総会を開催した。

冒頭の挨拶で山下理事長は、4月の介護報酬改定に伴い、福祉用具サービス計画の策定が義務付けられたことに加え、「これからは質の確保に転換する時代に来たと認識している」と述べた。

また、住宅改修と福祉用具の活用による住環境整備の重要性を説き、「その意味でも全国福祉用具専門相談員協会の役割は

大きい」と訴えた。

来賓挨拶を行った厚労省老健局振興課の川又竹男課長は、地域包括ケアを展開し利用者の在宅生活を支援する上では「福祉用具などを上手く使っていくことが一つのキーポイント。福祉用具の可能性は大きい」と期待を寄せた。

また、福祉用具サービス計画により多職種で情報を共有し議論できるこ



とから、「チームケアの土台になる」と指摘。

また「福祉用具貸与は」単にモノを貸しているわけではなく、本当のサービスであることが個別援助計画の作成をきちんと位置付けた意味である」と強調した。

なお総会では役員を選任が行われ、理事長には山下一平・(株)ヤマシタコーポレーション代表取締役社長が、副理事長には畔上加代子・(株)エイゼット代表取締役がそれぞれ再選された。また、新たに大熊由紀子・国際医療福祉大学大学院医療福祉ジャーナリズム分野教授が理事に加わった。

総会終了後には、中村秀一・内閣官房社会保障改革担当室長による「社会保障・税一体改革」に

ついでに記念講演会が開催された。